泉第八小学校長だより

轟　とどろ

平成２１年１２月２４日
１２月号

熊本県学力テストに挑戦

２日(水）と３日(木）に熊本県学力テスト(国社算理）を実施しました。各教科の基礎的な問題と活用問題そして意識調査が行われました。特に活用問題は、理解した力を基にして実際の生活の場面等で生かす問題となっています。今までの覚えた･分かっただけでなく、自分の生活に直結するような問題が出題されています。これらは県下同一問題となっており、本校の子どもたちの頑張りと課題を把握して、今後の教育活動に役立てることにしています。この結果は、一人一人のご家庭に報告いたします。３日に教室の暖房機の調子が悪かったため、急遽、場所を変更してランチルームでのテストとなりました。

授業参観･学習発表会･親子球技大会を実施

９日(水）の２校時に授業参観を実施しました。人権週間ということもあり、児童の人権意識の高揚はもちろんのこと保護者にも人権教育の実際を参観していただき、みんなが幸せに生きるために考えて欲しいこと、知って欲しいことなどを中心に授業を進めました。

新年の抱負がケーブルテレビで

２１日(月）の大雪の日にケーブルテレビの取材がありました。新年を迎えてからの放送となります。一人一人がどんな表情で何を発表したのかを楽しみにしていてください。

校門に立派な門松が

９日(水）にＰＴＡと育栄会そして子どもたちで正門の左右に大変立派な門松を作りました。子どもたちがお母さんたちと竹を編み参加者全員が一人一役を担って、ご覧のとおり素晴らしい出来映えです。当日は、冷たい雨の中で傘を差したりカッパを着ての作業となりました。子どもたちは、毎日その自慢の門松を通って登下校をしています。

大雪に子どもたちは大はしゃぎ

１７日(木）夜から降り続いた大雪は、子どもたちにとっては大歓迎、寒さなど忘れて運動場はゲレンデとなって子どもたちの歓声に包まれました。あの急斜面を登って、滑り降りています。上から見れば、大変な角度なのですが子どもたちの勇気に脱帽です。

全員が新記録の持久走大会

１７日(木）に持久走大会を実施しました。今年は例年以上にコースを試走する機会を増やしたり、全員で九州一周走破に取り組みました。なんと全員が、試走の最高タイムを更新したのにはびっくりしました。みんな、しっかり走力がついてきました。

校　長　コ　ラ　ム

「心優しい子どもに育って欲しい。」　これは親なら誰もが願っていることです。しかし、心を育てるのは簡単にできるものではありません。子どもは、身の回りの環境を敏感に察知して、良いことも悪いことも身につけてしまうからです。子どもの生活の中で毎日出合う大人の言葉づかいや心づかいなどは大きく子どもの人格形成に影響します。よって学校では、子どもたちの教師や来客者への言葉づかいは、厳しく敬語を使うように指導しています。登下校時には、児童一人一人が先生の目を見て挨拶することは勿論のこと「自分の発する言葉と態度に心を込めて」目配り･気配り･心配りができるよう目気心ウイークを設定して、心を実践につなげる取組をしています。また、全校で取り組んでいる児童詩も成果を上げ、熊本日日新聞の一面を飾っている「たから箱」に子どもたちの詩が1月下旬に掲載されることが決まりました。自分の作品が新聞の一面を飾るなんて人生の中で2度と体験できないのではないでしょうか。しっかり褒めていただければ嬉しく思います。子どもの心を育てるためには、周囲の大人自身が手本を示すことはもとより、子どもが気づかなかったら気づかせ、行動しなかったら行動することの意味を子ども自身に考えさせて欲しいと思います。ぜひ、指示する躾（しつけ）から考えさせる躾へ転換を図りたいものです。裏の面に内閣総理大臣賞を受賞した久木野小４年の藤崎さんの心豊かな作文を掲載しています。どうぞご一読ください。